

ホームドアの整備加速に関する協議会（第3回）

議事要旨

■日 時：令和7年2月10日（月）16:45 ～ 17:15

■場 所：東京都庁第一庁舎7階大会議室

■議事：

- （1）ホームドアの整備加速策（技術・施工・資金面）について
- （2）共同宣言案について
- （3）意見交換
- （4）共同宣言

- （1）ホームドアの整備加速策（技術・施工・資金面）について

事務局から「ホームドアの整備加速策（技術・施工・資金面）」について、資料1のとおり報告があった。

- （2）共同宣言案について

事務局から「共同宣言案」について、資料2のとおり報告があった。

- （3）意見交換

- ・これから加速に取り組んでいく鉄道事業者7社から、令和10（2028）年度末までの整備目標や協議会で示された加速策（技術・施工・資金面）を活用した今後の取組について説明があった。
- ・国土交通省から国の取組について説明があった。

<主な意見>

○鉄道事業者

- ・技術面をさらに磨き、2028年度末までに中央快速線、中央総武・緩行線を中心に都内120番線程度を整備。今後精査して上積みも目指したい。（JR東日本）
- ・本協議会をとおして、都内2駅の計画を前倒しし、2028年度までに16駅に整備する予定。（東武鉄道）
- ・都内の駅で年間8番線を目安に整備。（西武鉄道）
- ・2駅の整備前倒しを行い、2028年度までに5駅を整備。（京成電鉄）
- ・井の頭線を2027年度までに、京王線を2030年代前半に整備。（京王電鉄）
- ・2028年度までに11駅27番線整備することを目指していく。（小田急電鉄）
- ・2025年から2026年度までに8駅、2027年度から2030年代初頭までに5駅を整備。（京急電鉄）

○国土交通省

- ・ホームドアの整備を推進することは重要と考えている。
- ・整備目標として令和7（2025）年度末までに全国で3000番線を整備する事を掲げており、令和5（2023）年度末時点で2647番線への整備が完了している。
- ・令和8（2026）年度以降の新たな目標設定について、更なる高みを目指し議論を進めている。

(4) 共同宣言

共同宣言案に賛同いただき、官民が連携して整備を進めていくことを確認した。

以上